

# 国語科で活用する

## 本場面におけるポイント

### ● 題材と自己をつなぐことに生かす

「心のノート」で自分の体験を想起し、主人公の生き方と自分の生き方を重ね合わせることによって、感動を深めることができる。

### ● 伝え合う力を高めたり、言語感覚を豊かにしたりすることに生かす

「心のノート」に書き留めた感動を話したり、文章にしたりすることによって、伝え合う力を高めたり、言語感覚を豊かにしたりすることができる。

### ● 学習内容の補助資料として生かす

例えば、文学的な文章ではものの見方や考え方を捉えるために、説明的な文章では話題への興味・関心を高めるために、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の学習では言葉と生活場面との関連を深めるために、補助資料として生かすことができる。



## ● 「心のノート」で学習後の感想を深めさせる事例(第2学年)

### 1 題材名 「走れメロス」

### 2 ねらい

メロスやセリヌンティウスの言動を通して、人間の在り方や人間にとって大切なものについて考えるとともに、場面ごとの情景や心情の変化を捉え、表現のよさを味わう。

### 3 指導計画(6時間)と「心のノート」活用の実際

(1) 太宰治作「走れメロス」を読んで、あらすじを捉え、初発の感想を発表する。(1時間)

(2) メロスが激怒した理由を考え、メロスと王の考えの違いや人物像についてグループで話し合う。(1時間)

(3) 走るのをやめたときのメロスの心理や、再び刑場に向けて走り出した理由を考え、「恐ろしく大きなもの」について話し合う。(2時間)

(4) セリヌンティウスとメロスが殴り合ったときの互いの気持ちを考え、王を改心させた理由について話し合う。さらに、P.54「互いを高める友情はどこにある?」にある問いについて考え、友情や人間の生き方等についての考えを深める。(1時間)

(5) 漢字や語句等についてまとめる。(1時間)

例えば、友情という観点からあなたはどんなことを考えますか。あなたが考えたことを『心のノート』に書いてみましょう。



この時間の一部に活用する



中学校用P.54



## 感動を深め、伝え合う力を高める「心のノート」

## ● 学習意欲を高め、言語生活に生かす事例(第3学年)

### 1 題材名 「敬語の使い方」

### 2 ねらい

敬語の働きについて理解し、場面や状況に応じて、敬語を適切に使うことができる。

### 3 指導計画(3時間)と「心のノート」活用の実際

(1) 中学校用P.44「**礼儀知らずは恥知らず?**」を読んで、礼儀は相手を尊敬する気持ちの表れであり、コミュニケーションを図るために大切なものであることを理解する。そして、敬語には相手を敬う気持ちが表現されていることをつかみ、学習への意欲をもつ。(1時間)

(2) 丁寧語、尊敬語、謙譲語の働きについて理解する。(1時間)

(3) 敬語の適切な使い方や意義について考える。(1時間)

中学校用P.47「**T.P.O.を考えた言動ができていますか?**」を見て、どこがおかしいのか発表し、「とき」「ところ」「場合」を考えた言動の大切さに気付く。

どんな行為について、誰が誰に敬意を表しているかについて考え、常体の例文を敬語を使った表現にする。

グループごとに、敬語を使った会話の場面を設定し、場面や人間関係に応じた敬語を考え、役割演技をする。



いらっしゃいませ。何をお探ですか。



「どうぞいただいでください。」  
「何を召し上がれますか。」など、日常生活の中で、敬語の使い方がおかしいと思ったことを中学校用P.47「**あなたが考えるT.P.O.**」の表に書いて発表する。  
敬語の正しい使い方について考える。



もしもし。〇〇中学校の古川と申します。町の環境問題についてお聞きしたいのですが。



# 社会科で活用する

## 本場面におけるポイント

- 国土への興味や関心を引き出す  
富士山など国土の写真を導入部分で活用し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てることに生かす。
- 学習のまとめや振り返りとして  
学習したことを振り返り、社会貢献について考える活動を取り入れることで、平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うことに生かす。
- 自分の生き方を考えるきっかけとして  
社会科で学習したことをそれぞれの道徳的価値に照らして自分の生き方について考えることに生かす。



### ● 仕事とくらしを考える学習を通して、勤労の大切さに気付くための活用（第3学年）

- 1 単元名 はたらく人とわたしたちのくらし
- 2 ねらい
  - ・人々が生産や販売に関する仕事をしていて、生活を支えていることがわかる。
  - ・身近な地域の生産活動や販売活動の仕事に携わる人々の工夫を具体的に考える。
- 3 単元展開の構想（全23時間）

〈実施時期9～12月〉

子どもの意識と学習活動	教師のはたらきかけ
<b>1 スーパーマーケットで見つけたよ⑨</b> ・インタビュー ・品物はどこから	◆スーパーマーケットの見学を通して、工夫に気付くようにする。  ◆「心のノート」P.36～37の活用 インタビューの事前学習として、礼儀について学習する。
<b>2 まちの人びととともに③</b> ・地域の店を調べよう	
<b>3 キャベツ農家へ行ったよ⑩</b> ・インタビュー ・いよいよ取り入れ	◆「心のノート」P.76～77の活用 学習を通して、勤労について考えさせる。
<b>4 まとめと振り返り①</b>	

#### 4 「心のノート」活用の実際

- ① インタビューの事前学習として  
3・4年用P.36「礼ぎ」を活用し、インタビューするときの挨拶など礼儀について学習する。



3・4年用P.36

## 公民的資質の基礎を養う学習に生かす

- ② 学習を終えたまとめの段階で  
3・4年用P.76～77「みんなのために流すあせは とても美しい」の中の「働くことはだれのため？」という投げ掛けを生かして、勤労の大切さについて考える機会をもった。



5・6年用P.76～77

### ● 国土について考える学習を通して、社会貢献の大切さに気付かせるための活用（第5学年）

- 1 単元名 わたしたちの国土と環境
- 2 ねらい
  - ・我が国の国土の自然などの様子について理解し、国土に対する愛情をもつ。
  - ・国土の理解と人々の生活や産業との関連について考える。
- 3 単元展開の構想（全20時間）

〈実施時期1～3月〉

子どもの意識と学習活動	教師のはたらきかけ
<b>1 さまざまな自然とくらし⑨</b> ・国土の広がりや気候の様子 ・特色ある地域の人々のくらし	◆「心のノート」P.104～105を電子黒板や実物投影機で見せる。
<b>2 わたしたちの生活と環境⑤</b> ・公害からくらしを守る	◆生活と環境のあり方について自分の考えをもたせる。
<b>3 わたしたちの生活と国土⑥</b> ・森林資源の働き ・自然災害の防止	◆「心のノート」P.94～95の活用 災害の学習を通して、社会貢献について考えさせる。

#### 4 「心のノート」活用の実際

- ① 導入で  
5・6年用P.104～105「見つめようわたしのふるさとそしてこの国」のページを生かして、我が国の国土に対する興味や関心を引き出した。



5・6年用P.104～105



5・6年用P.94～95

- ② まとめ段階で  
学習を終えた段階で、5・6年用P.94～95「社会の役にたとうとする心」の中の「あなたにもできる社会のためになることが」のページを生かして、社会貢献について考える機会をもった。